

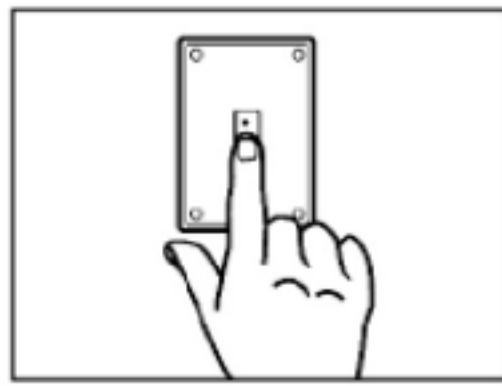
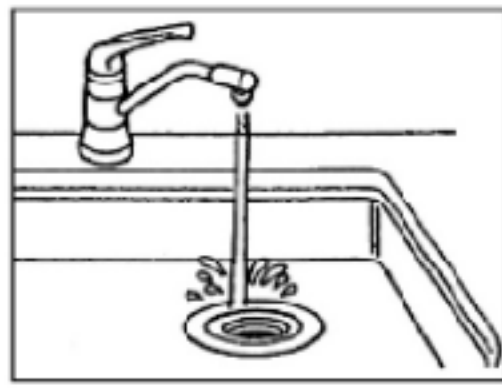
運転方法

1. ディスポーザの蓋を外して、水を十分に流します。

（水はディスポーザの使用中は流し続けます。）

これを怠ると排水管詰りの原因になります。

2. スイッチをONにして、ディスポーザを作動させます。作動中に生ごみを入れて下さい。



水の流し方

効果的に処理するための流水量は毎分約8リットル（蛇口全開の半分）です。配水管の詰りを防ぐため、必ずまず最初に水を流し、その後でディスポーザの電源を入れます。処理が終わったら、ディスポーザを止めて下さい。

処理が済んだ後もしばらく（約10秒間）流水を続けて、排水管が水平に設置されている部分の排水を、完全に行う必要があります。

正しくお使いいただくために

- 処理中には蛇口全開の半分程度の水を流し、処理後も10秒間流したあとで水を止めて下さい。
- 処理が終わる前にディスポーザや水を止めることは避けて下さい。

投入してもよいもの



●食品くず●

野菜くず、果物くず・御飯、魚肉・いわしなどの小魚の骨、手羽元などの鳥の骨・昆布などの海藻類、肉類、麺類、スープ、パン、菓子、揚げ物、残飯など

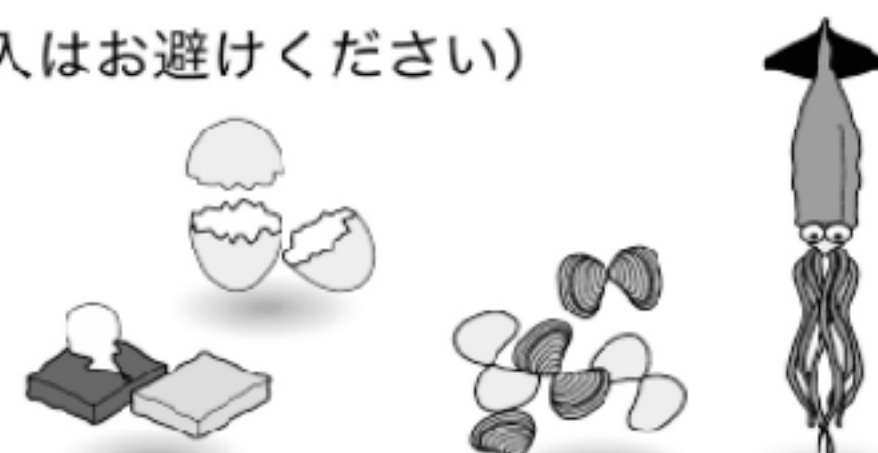
※ スイカの皮、メロンの皮、とうもろこしの芯、グレープフルーツの皮などの大きなごみ、厚みのあるごみは、数センチ程度に小さく切って投入すれば、問題なく粉碎できます。

※ 同じ種類のごみだけを投入するより、何種類かのごみを混ぜて投入した方が、粉碎が楽に行われます。

●同種類のごみだけで大量に投入する場合●

※ 少しずつ他のごみと混ぜて投入してください。（同種類のごみだけの大量投入はお避けください）

- 繊維質のもの …… 枝豆の皮など
- 流れにくいもの …… 卵の殻、しじみ・あさり等の貝殻など
- 粉碎に時間がかかるもの …… 生魚の皮や鳥の生皮、イカ・タコ類など
- やわらかくねばりのあるもの …… ご飯、うどん、もちなど
- 重さが軽く粉碎しにくいもの …… たまねぎの皮、お茶の葉など



投入してはいけないもの

※ 故障・排水管のつまり・処理槽への影響があるもの

- とても固い骨・殻 …… 牛・豚の大骨、サザエ・牡蠣・あわび等の大きな貝殻、大きなカニの殻など
- 特に硬い繊維質のもの …… とうもろこしの皮、たけのこの皮など
- 大量の熱湯、大量の熱い食品など、高温の湯はディスポーザをいためますので冷ましてから投入してください。

絶対に投入してはいけないもの

※ 食品くず以外のもの

- 油類 …… 多量のサラダ油、大量のてんぷら油など
- 薬品類 …… 多量の洗剤、多量の薬品、溶剤（シンナー）など
- 食品くず以外のもの …… 金属・プラスチック・ガラス・陶器・紙・木類、輪ゴム、ビニール袋、キッチンペーパー、タバコの吸い殻など

食器洗い等に普通に使用される量の洗剤、鍋などに付着している程度の油は問題ありません



日常のお手入れ（消臭方法、ヌメリ取り）

ディスポーザから異臭がするのは通常、流水の量が不足し内部の清掃が良く行われなかった結果、少量の油脂や残余物が蓄積している場合が多いので次の処理を行って下さい。

1. レモンの皮を1～2個分処理して下さい。
2. ディスポーザの電源を切り、フタスイッチの下のゴム製のスプラッシュガードの裏側を清掃します。その後、ディスポーザ本体内部の上部入り口を磨いて下さい。
3. 流しに止水蓋で栓をしてぬるま湯を半分程満たします。そこに重曹（大匙4～5杯）を加えてかき混ぜ重曹溶液を作ります。ディスポーザのスイッチをいれて、蓋を外します。これで水はディスポーザ内部の隅々まで行きわたり、清掃が行われます。重曹がディスポーザの内部の汚れを除去します。
4. ヌメリがある場合は、氷の小片をディスポーザに入れて粉碎して下さい。



警告

重曹が目に入らないように注意して下さい。



警告

火災事故、感電事故、人身障害等の危険についてのご注意

電気器具をご使用の場合にはつぎのような基本的な注意事項を必ずお守り下さい。

1. 器具をご使用になる前に必ず取扱い説明書をお読み下さい。
2. ご使用中、子供が近くに居るような場合には、とくに注意して事故が起こらないようにして下さい。
3. 指や手をディスポーザの中に入れないで下さい。
4. ディスポーザから異物を取り除く場合は、必ず電源コンセントを抜いてから、長柄のドライバーかプライヤーを使用して異物を取り除いて下さい。異物がディスポーザ内部に噛み込んで取り出しにくい場合は、サービスレンチをディスポーザ底部の中心にあるモーターシャフト穴に差し込んで手動でいずれかの方向に回転させるとはずれます。
5. ゴム製のスプラッシュガード（水飛散防止）が劣化して、水滴のはねかえりや噴出の防止能力が落ちた場合には交換して下さい。
6. リセットボタンを押す場合には、必ず前もって電源コンセントを抜いて下さい。
7. アースに関するご注意。
 - 本機器は必ずアースして下さい。万一、機能不全や故障が発生したときは、アースは電流を地上に直接逃し感電事故の危険性を減じます。正しく取り付けられてアースがしてある適切なコンセントに接続してください。
 - アース用導線を間違えて接続すると感電の危険があります。

このたびは本ディスポーザをお買い上げ頂きまして、まことにありがとうございました。お求めのディスポーザを正しくご使用して頂くために、お使いになる前にこの「据付、取扱い、整備説明書」をよくお読み下さい。

本説明書にはディスポーザの取り付け方も詳しく図解してあります。
お読みになった後は、いつも手元に置いてご参照下さい。

特 徴

本ディスポーザは一般家庭用として使用できるように設計してあります。キッチンでの労働力を軽減し、清潔に保ち、環境を損なわないこのディスポーザは肉や魚の骨、コーヒーの出し滓などを含めて、台所のごみを迅速かつ効果的に処理します。

**警告**

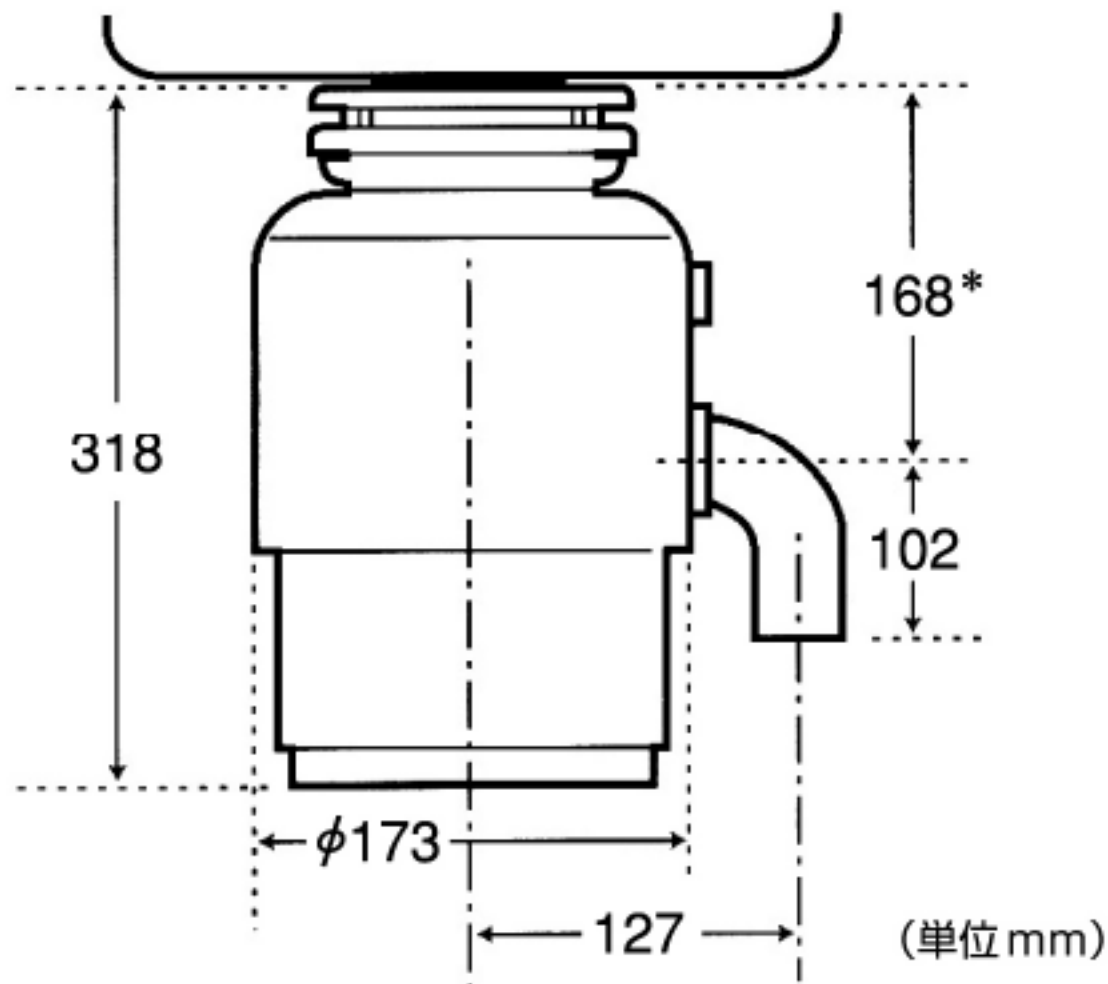
警告は重い人身障害や死を招くかもしれない危険や安全を欠く行為に対して注意を促すものです。

**注意**

注意は軽い人身障害や物品、財産の損失を招くかもしれない危険や安全を欠く行為に対して注意を促すものです。

この器具の設置と使用に当たっては、この「据付、取扱い、整備説明書」に書いてある諸注意をよく読み、それらの内容を理解して下さい。お子様にはこの器具を使用させないで下さい。

設置寸法



*ーシンクの底部からディスポーザの排出口の中心線までの長さ。ステンレスの流しが使用されている場合はあと13mmほど追加すること。

注意：ディスポーザの処理室に水がよどむのを防ぐために余計な排水ラインがでないように配管工事を行って下さい。

取り付けるシンク排水口径の確認

取り付け可能なシンク排水口の大きさは2タイプです。

- ① φ181mm（開口穴 φ159mm）の場合
アダプター及び、シンクフランジをそのまま使用して取り付けます。
- ② φ115mm（開口穴 φ89mm）の場合
アダプターを使用しないでシンクフランジのみで取り付けます。

※上記以外の場合は工事店にご相談ください。

